

紹介します
日野高校

涙と努力の 二大行事



地域の皆さんに支え続けていただき、日野高校は創立104年目を迎えることができました。このたびは日野高校の二大行事とも言える体育祭と文化祭について紹介をしたいと思います。どちらもみんなが楽しめるにぎやかなものです。しかしその裏側には仲間と本気で意見をぶつけ合い、悩み、ときには涙を流しながらの努力があります。

あまり町民の皆さんに知っていただく機会のない日野高校の行事を通して、楽しむときには思い切り楽しみ、がんばるときにはしっかりと真剣に取り組む日野高校生の姿を知っていただけたらと思います。

体育祭

喜びも悲しみも

みんなで分け合う

7月8・9日に行われた体育祭当日、グラウンドや体育館には応援の声が響き、選手は真剣、みんなが楽しげです。この日のために準備された一つひとつの団オリジナルのゼッケンをつけ、応援席の後ろには、団のスローガンをイメージしたバックが立てられます。団旗を振って声がかかるくらいに大きな声で選手を応援します。そんな楽しく華やかな体育祭ですが、当日までの努力があるからこそ盛り上がるのです。

日野高校の体育祭は3学年からなる縦割り団で団結し、優勝を目指す。練習や準備に取り組みます。体育祭の準備期間は一週間、それも午後だけとわずかなものです。限られた時間内に、3年生を中心としてパフォーマンズ、衣装、ゼッケン、バック、団旗と役割を決めて係別に作業を進めていきます。材料の注文やデザイン、縫製、パフォーマンスのダンスの振り付けを考えるのも自分たちです。

作業を進める中で、団の仲間と



▲団旗を作成中・・・みんな真剣です

の意見の相違から涙を流すこともありましたが、また、作業が思うように進まず、焦りから仲間につらく当たってしまうこともありましたが、

学校で指定されている準備期間だけでは仕上げることはできません。休日も学校で朝から夕方まで取り組む姿を多く見かけます。自分の係の作業だけをがんばるのではなく、人手が足りない係があれば自ら進んで手伝い、体育祭に向けて全員が協力して準備に取り組みます。くじけそうにならながらも、仲間と支え合うことで無事に準備を終えて体育祭当日を迎えるのです。

体育祭当日は、日野高校が1年で最も熱くなります。生徒だけで



▲体育祭のパフォーマンスの様子

はなく、先生方も一緒になって体育祭を盛り上げます。精一杯がんばってめいっぱい楽しんで後の表彰式では、結果発表のたびに全員が一喜一憂の反応を見せます。立ち上がった喜びもあれば、肩を叩きあい涙する団もあります。みんなで協力して作り上げた体育祭は、喜びも悲しみもみんなで分け合います。

団結すれば何でもできること、がんばることの大切さなど、たくさんの方を学び、日野高校生を少し成長させて体育祭は終わります。

文化祭

自由な発想を楽しむ

11月19・20日に行われた文化祭では、体育祭とは違い、勝つことではなくみんなが楽しむことを目的として活動します。発表の形はさまざまですが、クラスで協力して作品を作り出す行事です。

文化祭はクラス単位で活動する初めての行事となります。1年生は舞台発表、2年生は教室発表、3年生は模擬店と学年によって発表の場が違います。

また、全学年共通で行う変身パフォーマンスという舞台発表はとも盛り上がるもので、どのクラスも力が入ります。準備期間は体



▲模擬店の準備をしている3年生

また、全学年共通で行う変身パフォーマンスという舞台発表はとも盛り上がるもので、どのクラスも力が入ります。準備期間は体育祭と同様に一週間と短いものです。いつもの教室と違い、教室のいたるところで文化祭の取り組みの様子があがります。

文化祭1日目、中庭は3年生や舞台発表を見物する生徒でにぎわっています。2年生の各教室では、教室発表として迷路やブランタリウムなどが作られました。舞台発表では、クラスオリジナルの劇が披露され、とてもにぎわいました。変身パフォーマンスでは、みんなが驚くような演出で劇やダンスなどを披露してくれました。お昼になると、3年生が作る模擬店の料理やPTAの方が作ってくださるカレーライスが寒さで冷えた体を温めてくれました。

2日目は、部活の発表やビンゴ大会が行われました。午後からは芸術鑑賞として、わたむぎホール虹で楽器を使わず声だけで演奏するアカペラコンサートを鑑賞しま



▲変身パフォーマンスの様子

した。楽器を使わない演奏に全校生徒が聞き入りました。

どの出し物も手の凝った演出やアイデアで、目が離せないものばかりでした。みんなの自由な発想で、楽しい思い出を残して文化祭は終わりました。

編集後記

私は職場実習生として「広報ひの」の制作に関わらせていただきました。今まで何気なく読んでいた広報に、誰もが読みやすいようにと細やかな配慮がされていることを知りました。また、日野町のために働く職場の方々を見て、社会人になるという自覚を持つことができました。ご迷惑をおかけしながらも、とてもよい経験をさせていただきました。この実習で得たものをこれからの生活で生かしていきたいと思えます。

日野高校3年生 岸村 沙理

